

生物多様性

ENVIRONMENT 

▶方針・考え方

当社グループは、インフラ事業を軸としてさまざまな事業を実施しており、サプライチェーン全体において自然との接点を有しているため、さまざまな形で自然環境・生態系から恵みを受けると同時に、影響を与えている密接な関係にあります。そこで、2025年4月に「関西電力グループにおける生物多様性の取組みに関する基本方針」を制定しました。今後も、当社グループは、生物多様性の向上に積極的に取り組むことで、事業の持続性を追求し、ステークホルダーのみならず信頼される企業になります。

◆＜関西電力グループ環境方針 5. 生物多様性の向上＞

5. 生物多様性の向上

関西電力グループは、生物多様性に依存し、また影響を与えていることを認識し、生物多様性の向上に積極的に取り組むことで事業の持続性確保と機会を創出します。

関西電力グループにおける生物多様性の取組みに関する基本方針

(1) ありたい姿

関西電力グループは、生物多様性の向上に積極的に取り組むことで、事業持続性を追求し、ステークホルダーの皆さまから信頼される企業になる。

(2) 取組内容

【事業の持続性確保】

各部門が生物多様性への依存と影響に関して事業活動に与えるリスクを特定し、事業の持続性の確保に資する取組みを実施する。

【機会の創出】

自社事業やアセット等を活用し、生物多様性の向上と事業継続(ビジネス)を両立した取組みの拡大・創出を行う。

【積極的な開示】

生物多様性の取組みについて積極的な開示を行う。

▶目 標

生物多様性の保全

生物多様性の向上に積極的に取り組む

▶取組み



当社グループは、自然関連のリスクへの適切な対応を進めるとともに、各地域における生物多様性の保全・向上に取り組んでいます。これらの取組み等の詳細については、TNFDレポートにおいて開示しています。今後も、生物多様性に関する取組みを推進するとともに、情報開示のさらなる充実に努めます。

[TNFDレポート](#) 